

高円宮杯 2017 ホッケー日本リーグ男子 H2 第 9 日目～第 10 日目

13日の記録 スポーツ

2017/08/14 朝日新聞 朝刊 9 ページ 48 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽男子 岐阜朝日ク (1 2) 5 - 2 小矢部 (3)

(カッコ内数字は勝ち点)

ホッケー : 日本リーグ 13日

2017/08/14 毎日新聞 朝刊 17 ページ 61 文字

◇ホッケー日本リーグ (1 3 日・川崎重工ホッケースタジアム)

▽男子

岐阜朝日ク (勝ち点 1 2) 5 - 2 小矢部 REDOX (3)

ホッケー・日本リーグ 13日

2017/08/14 東京読売新聞 朝刊 14 ページ 29 文字

▽男子 H 1

岐阜朝日ク (勝ち点 1 2) 5 - 2 小矢部 (3)

岐阜朝日ク 4連勝 男子

ホッケー日本L

ホッケー男子の日本リーグH1(1部)第10日は13日、川崎重工ホッケースタジアムで1試合を行い、岐阜朝日クラブBD(BLUE DEVILS)は、小矢部REDOXに5-2で快勝し、4連勝を飾った。通算成績

績を4勝1敗とし、勝ち点は12で、順位は首位に躍り出た。

岐阜朝日は第2クォーター7分、PCからのバリエーションをFW辻健吾が決めて先制。2分後にはサイドから巧みなドリブルでGKらを交わして、ゴール前でラストパスを受けた大学生のMF堀江幸聖が冷静に追加点を決めるなど、第2クォーターで3点を奪って流れをつかんだ。その後も主導権を握り続け、第3クォーターにはFB山田翔太らの得点でさらに突き放すと、相手の反撃を2点に抑えて勝った。

岐阜朝日の次戦は、第12日の9月3日、埼玉県阿須運動公園ホッケー場で、ALDER飯能と対戦する。

岐阜朝日 クBD	5	(12)	小矢部 REDOX	2	(3)
0	2	3	0	1	0
0	1	1	0	2	0

▽得点者【岐】辻(2Q7分) 堀江2(2Q9分、13分) 片岡(3Q4分) 山田(3Q9分)
【小】河合(2Q15分) 村田(3Q10分)

ホッケー男子の日本リーグH1(1部)第10日は13日、川崎重工ホッケースタジアムで1試合を行い、岐阜朝日クラブBD(BLUE DEVILS)は、小矢部REDOXに5-2で快勝し、4連勝を飾った。通算成績を4勝1敗とし、勝ち点は12で、順位は首位に躍り出た。

岐阜朝日は第2クォーター7分、PCからのバリエーションをFW辻健吾が決めて先制。2分後にはサイドから巧みなドリブルでGKらを交わして、ゴール前でラストパスを受けた大学生のMF堀江幸聖が冷静に追加点を決めるなど、第2クォーターで3点を奪って流れをつかんだ。その後も主導権を握り続け、第3クォーターにはFB山田翔太らの得点でさらに突き放すと、相手の反撃を2点に抑えて勝った。

岐阜朝日の次戦は、第12日の9月3日、埼玉県阿須運動公園ホッケー場で、ALDER飯能と対戦する。

岐阜朝日クBD(12) 5(0-0、3-1、2-1、0-0) 2 小矢部REDOX(3)
▽得点者【岐】辻(2Q7分) 堀江2(2Q9分、13分) 片岡(3Q4分) 山田(3Q9分)
【小】河合(2Q15分) 村田(3Q10分)

ホッケー 日本リーグ（13日・川崎重工ホッケースタジアム）

2017/08/14 中日新聞朝刊 22 ページ 30 文字

▽男子

岐阜朝日ク（12） 5－2 小矢部REDOX（3）

ホッケー日本リーグ（13日・川崎重工ホッケースタジアム）

2017/08/14 神戸新聞朝刊 8 ページ 65 文字

◆ホッケー日本リーグ（13日・川崎重工ホッケースタジアム）

【男子】岐阜朝日ク（勝ち点12） 5－2 小矢部REDOX（3）（共同）

きょうのスポーツ

2017/08/13 朝日新聞 朝刊 15 ページ 24 文字

■ホッケー 日本リーグ（14・00 岐阜・川崎重工）

12日の記録 スポーツ

2017/08/13 朝日新聞 朝刊 15 ページ 47 文字

◇ホッケー 日本リーグ

▽男子 岐阜朝日ク（9） 4－0 飯能ク（0）

（カッコ内数字は勝ち点）

ホッケー・日本リーグ12日

2017/08/13 東京読売新聞 朝刊 18 ページ 28 文字

▽男子H1

岐阜朝日ク（勝ち点9） 4－0 飯能ク（0）

◇ホッケー 日本リーグ（12日・川崎重工ホッケースタジアム）

2017/08/13 岩手日報朝刊 14 ページ 24 文字

▽男子

岐阜朝日ク

（9）

4－0

アルダー飯能

（0）

ホッケー日本L 岐阜朝日ク3勝目 男子

2017/08/13 岐阜新聞朝刊 16 ページ 428 文字

ホッケー男子の日本リーグH1（1部）第9日は12日、川崎重工ホッケースタジアムで1試合を行い、岐阜朝日クラブBD（BLUE DEVILS）は、ALDER飯能を4―0で下し、3勝1敗の勝ち点9とした。順位は3位のまま。

岐阜朝日は、第2クォーター11分に得たPCからのこぼれ球をMF伊東将慶がサークル内に打ち込み、FB山田翔太が決め先制。13分にはリバウンドをFB藤井辰憲のスィープシュートで2点目。第3クォーター11分には素早いカウンターからFW武石拓郎が決め、3点目。さらに14分にはMF田中世蓮がセンターライン付近からボールを奪って持ち込み、ドリブルで相手GKをかわして4―0とし、突き放した。

岐阜朝日の次戦は、第10日の13日、同スタジアムで小矢部REDOXと対戦する。

=県関係分

岐阜朝日ク（9） 4（0―0、2―0、2―0、0―0）0 ALDER飯能（0）

▽得点者【岐】山田（2Q11分）藤井（2Q13分）武石（3Q11分）田中世（3Q14分）

きょうのスポーツ

2017/08/13 中日新聞朝刊 23 ページ 475 文字

◇ホッケー 日本リーグ（14時・川崎重工ホッケースタジアム）

ホッケー 日本リーグ（12日・川崎重工ホッケースタジアム）

2017/08/13 中日新聞朝刊 24 ページ 27 文字

◇ホッケー 日本リーグ（12日・川崎重工ホッケースタジアム）
▽男子
岐阜朝日ク⑨ 4―0 アルダー飯能⑩

▽男子

岐阜朝日ク（9） 4―0 アルダー飯能（0）

ホッケー日本リーグ（12日・川崎重工ホッケースタジアム）

2017/08/13 神戸新聞朝刊 8 ページ 62 文字

◆ホッケー日本リーグ（12日・川崎重工ホッケースタジアム）

【男子】岐阜朝日ク（勝ち点9）4－0アルダー飯能（0）（共同）

13日（日）のスポーツ

2017/08/12 16:01 日経速報ニュース 494 文字

◇ホッケー＝日本リーグ（14時、岐阜・川崎重工ホッケースタジアム）

きょうのスポーツ

2017/08/12 朝日新聞 朝刊 11 ページ 24 文字

■ホッケー日本リーグ（10・00岐阜・川崎重工）

13日のスポーツ

2017/08/12 共同通信ニュース 29 文字

◇ホッケー 日本リーグ（14時・川崎重工ホッケースタジアム）

きょうのスポーツ

2017/08/12 中日新聞朝刊 17 ページ 29 文字

◇ホッケー 日本リーグ（10時・川崎重工ホッケースタジアム）

12日のスポーツ

2017/08/11 共同通信ニュース 29 字

◇ホッケー 日本リーグ（10時・川崎重工ホッケースタジアム）

12日（土）のスポーツ

2017/08/11 16:01 日経速報ニュース 32 文字

◇ホッケー＝日本リーグ（10時、岐阜・川崎重工ホッケースタジアム）

Appendix

ホッケー 豪州流の練習学ぶ 代表選手招き指導者講習 ぎふ清流スポーツワイド

2017/08/16 岐阜新聞朝刊 16 ページ 392 文字

ホッケーの男子豪州代表トップフォワードのディラン・ウォザースプーンを招いたホッケークリニックが、川崎重工ホッケースタジアムで行われ、県内の指導者や選手が、豪州代表の練習でも取り入れているミニゲームなどを体験した。

県内の指導者に、一流の選手やコーチの指導論や技術の習得を促す県の「優秀指導者招聘（しょうへい）事業」の一環。小学生から大学生までの幅広い年代の指導者を対象に、5日間の日程で行われた。

小中学生が対象のクリニックには、延べ23人の指導者と子ども110人が参加。ウォザースプーンは、ドリブルなどの基礎的技術を磨くためのポイントを的確に助言したほか、精度の高いシューティングを実演してみせた。

「子どもたち自身に考えさせながら挑戦させることが大切。フォームが違うなどすれば、中断して説明するが、取り組んでいる間は失敗を恐れず、どんどんトライさせるべき」と指導者に呼び掛けた。

山学大内の整骨院代表永井さん 選手の躍進サポート 元楽天コーチ心身をケア

2017/08/15 山梨日日新聞 12 ページ 1071 文字

プロスポーツの世界で培った経験を生かし、アスリートを支えるトレーナーがいる。プロ野球・楽天の元コンディショニングコーチで、現在は山梨学院大内にある整骨院「N D i r e c t i o n」代表の永井裕樹さん（35）。山梨学院大、高校の選手の治療だけでなく、練習メニューの作成やメンタルケアも担当し、好結果につなげている。

永井さんは愛知県瀬戸市出身。山梨学院大ラグビー部に所属し、F Bとして3年時に関東大学リーグ1部を経験した。当時学内で鍼灸整骨院を営んでいた岸邦彦さんからの勧めで、トレーナーを志した。

卒業後に渡米。大リーグジャイアンツの3 Aなどで研修を積んだ後、2009年から楽天のリハビリコーディネーターとして田中将大（現ヤンキース）、岩隈久志（現マリナーズ）らを担当した。

14年シーズン限りで退団後、岸さんの鍼灸整骨院で働き始めた。治療の傍らコンディショニングコーチだった経験を生かし、学生たちの体づくりや精神面の指導も始めた。

昨冬から担当している水泳部では、山学大を拠点とする鈴木聡美（ミキハウス）が4月の日本選手権50メートル平泳ぎで日本新をマーク。全国的に無名だった陶山周平（富士川町出身）が同選手権で2種目入賞するなど、好結果を残した。

体が細い陶山には複数回に分けて食事をとるよう勧め、肩や腕の効率的な動かし方も指導。練習や私生活で考え込み過ぎていた鈴木には水泳だけに向き合うよう、メンタル面のアドバイスをした。陶山は「体が大きくなったし、以前よりも効率的に水を捉えられるようになった」と手応え。鈴木も「精神的に楽になった」と効果を語る。

現在は水泳のほか、整骨院の従業員と手分けしてホッケー、空手、ゴルフのほか、山梨学院高の野球部、テニス部を担当。古屋記念堂 2 階にトレーニングルームを設け、筋力トレーニングなどを直接指導。山梨学院高野球部は 2 年連続で甲子園に出場した。

指導当初はジャンクフードばかり食べている選手や、漠然と与えられたメニューをこなす選手が多かったという。指導をするうちにコンディショニングへの意識が高まり、相談のために治療院に通う選手も増えてきた。「私生活から練習、試合直前まで全てが結果に関わる。学生時代にコンディショニングについて学んでいるかどうかで将来に違いが出る」と語る。

年々担当する選手、部活動は増えている。「自分が担当した選手が成長して大舞台上で活躍してくれたらうれしい」。今日も選手の背中を押し続ける。(土屋圭佑)

山梨学院のアスリートのコンディショニングを担当する永井裕樹さん = 甲府市酒折 2 丁目

創作の扉 = 野田真由美さん 光の真下、精緻な写実

2017/08/11 信濃毎日新聞朝刊 21 ページ 1577 文字

〔画家 野田 真由美 (のだ・まゆみ) さん〕

北安曇郡松川村に住む野田真由美さんが、美術団体「日本水彩画会」の展覧会（日本水彩展）で最高の内閣総理大臣賞を受けた。ここに掲載した受賞作「DOWN LIGHT」（ダウンライト）などが並び同会の 105 周年記念展が各地を巡回中だ（15 日まで広島市の百貨店「福屋」八丁堀本店、以後は京都市美術館などで開催）。

野田さんの作品は、室内や静物を精緻な筆致で描き出す写実画。日本水彩展のほかにも、これまで美術団体「一水会」の展覧会などで入賞を重ねてきた。だが「今度はこんな（大きな賞をもらう）ことになってしまい、どうしよう、という感じです。もともと私、美術と無縁の人間だったもので…」。

「無縁」とはまた極端だが、それというのも「中学校で卓球部、商業高校でフィールドホッケー部に所属、高校を卒業後は（出身地の）愛知県の県体育協会に勤めていました」。意外な経歴だ。いつから描画を？

「体育協会に勤めていた 20 代の半ば、年を取っても続けることができる趣味を持ちたくてカルチャースクールに通ったのが始まりです」。結婚に伴って長野県内へ移り住んでからも社会人向けの講座などで描画を習い、恩師の勧めで日本水彩展へ応募するようになったという。

野田さんは「DOWN LIGHT」と同じような絵画を同じ題名で何点も制作してきた。室内の卓上に食器や食品などを配してモチーフとした絵画は近世の欧州、特にスペインで発達し、ジャンルとしては「ボデゴン」（厨房（ちゅうぼう）画）と呼ばれる。

野田さんは厨房でなく画室で卓上にモチーフを配して描くが、ほかにも伝統的なボデゴンとは少し異なることがある。それは「DOWN LIGHT」という題名の通り、天井から真下を照らす電灯の光で描くこと。窓から差し、つまり横から差し光で描かれた近世の作品とは違う現代のボデゴンなのだ。

「たまたまスイッチを間違え、ダウンライトだけが点灯した夜の画室内を目にしたことがきっかけなんです。これは良さそうな光だと。でも、それだと描く私の手もとは薄暗いままでしょう？ 色や形を確かめるため、ほかの電灯を

つけたり消したりしながら制作しています」

そんなに苦心するなら、モチーフを撮った写真を基に描けば？「写真も利用するけれど、あくまでも補助。写真の模写だと駄目なんです。実際に見ているようには描けないし、質感や量感も確かめながら描きたいから。写真を模写するよりもむしろ、じかに描く方が手取り早いと私は感じます」。写真かと思まがうほどの写実は、写真の模写からは生まれない。なかなか奥の深い話だ。

「それに、日常の些事（さじ）や雑多な情報に疲れたり心が痛んだりした時、画室内でダウンライトの明かりを頼りに絵筆を握る静かな時間、静かな世界は私にとって大切です。モチーフとの対話で気持ちも整理されますから」

最近、室内画だけではなく「屋外画」も制作している。こちらは写真を基に描く。戸外で野良仕事をする自分の姿などを家族に撮ってもらうそうだ。「もう『DOWN LIGHT』シリーズは描かないの？」と聞かれますが、絵を始めた頃と同じ気持ちで違う画題にも挑んでいます。画力というものも年を取れば衰えるのかもしれないけれど、描くという楽しみは初心のまま持ち続けたい」

（植草学）

[のだ・まゆみ]

日本水彩画会会員、一水会会員。1951年、愛知県生まれ。95年、小山敬三記念浅間山絵画フェスティバル（小諸青年会議所主催）商工会議所会頭賞。96年、全国日曜画家中部日本展（信濃毎日新聞社など後援）銀賞。一水会展で2003年と04年に木下義謙奨励賞。日本水彩展で1999年に会友奨励賞、2006年に会員奨励賞、17年に内閣総理大臣賞。北安曇郡松川村在住。写真は自宅の画室で。

気象分析「金」へ追い風 五輪・W杯 専門家が助言 現地で計測 戦術に反映

2017/08/10 東京読売新聞 夕刊 13 ページ 1421 文字

五輪やワールドカップなどで、気象の専門家の分析をチームの戦術に取り入れるケースが増えている。屋外スポーツでは、気温や風向きなどが記録や試合の勝敗を左右するためだ。半年後の平昌（ピョンチャン）五輪・パラリンピックや2020年東京大会では、正確な気象予測が不可欠になる。

今年3月、平昌で行われた障害者スキーのルディックワールドカップ。天気情報会社「ウェザーニューズ」（千葉市）の社員が試合前日、コース上で携帯用の観測機を使って雪の温度や固さ、風、気温を計測した。

40地点で観測し、コース上の陰や日なたが、1時間ごとにどう変化していくかや温度変化などを予測。この予測をもとに日本チームはワックスを選択し、金銀銅メダルを一つずつ獲得した。全日本チームの長浜一年（かずとし）ヘッドコーチ（48）は「気象情報が、結果に貢献してくれた」と語る。

同社は来年の平昌五輪・パラリンピックでも日本チームに気象情報を提供できるよう準備を進めており、スポーツ気象チームリーダーの浅田佳津雄さん（41）は、「平昌は暖かく、人工雪でコースを作っていることが分かった。天気はコントロールできないが、対応するための準備はできる」と話した。

同社は昨年夏のリオ大会でも5人を現地に派遣し、セーリングやラグビー、女子ホッケーなど7競技18の

6人制ホッケーの第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会は9日までに、山口県岩国市の玖珂総合公園人工芝グラウンドで開催され、男子の日光ビクトリーが3位入賞した。

女子の日光ベリーズは1勝2敗で予選リーグ敗退した。優勝は水堀・沼宮内（岩手）が飾った。

【男子】▽予選リーグA組 (3) フリーデン1勝2敗=敗退▽B組 (1) 日光ビクトリー3勝=決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント2回戦 日光ビクトリー2-2(SO2-0) 常磐・糸生(福井)

▽準決勝

春照(滋賀) 0(0-0, 0-0, SO, 2-1) 0 日光ビクトリー

▽フレンドリー予選リーグFA組 (1) フリーデン2勝=決勝リーグ進出▽決勝リーグ 広島(広島)
3-2フリーデン、フリーデン11-0伊万里(佐賀)

▽順位 (2) フリーデン

【女子】▽予選リーグd組 (3) 日光Berry's 1勝2敗=敗退

▽フレンドリー予選リーグfa組 (3) 日光Berry's 2敗=敗退